

市民の声を市政に届けています！

能美市議会議員 田中さくじろう

あなたと築く
5期目のまちづくり

9月議会質問

- 太陽光発電導入計画について
- 不登校の子ども達の支援について
- 障がい者雇用について



能美市議会 YouTube

9/21 田中さくじろう事務所開きが行われました



8/1 能美市戦没者慰霊式

8/1 Oto18 研修会

8/1 馳浩能美市後援会発足式

8/1 シングルファミリー子ども食堂
夏休みパントリー&三道山スクール



8/2 三道山子ども食堂7周年祭&夏休みパントリー

8/4 能登応援 104 回目 炎天下の大谷塩田にも激励

8/10 高校生が企画運営の音楽フェス



(炊出しメニュー☆)

8/9 能登応援105回目は外浦に炊出しと見守り訪問

農家さんから、いつもたくさんのお土産を☆

自宅全壊の仮住まいで、はや 20 ヶ月



8/11 能登応援106回目 能登は前日も大雨で新たな道路の崩壊も なかなか災害が治まりません 能登の皆さんは明るく、元気を頂いています



お盆の墓参り 能登半島地震の被害残る墓地でも 富山 氷見
08月13日 16時03分

8/15 墓参り 母方実家氷見墓参で兄が TV 登場

8/17 水害について九谷町防災講演

8/19 能登応援 107 回目 この日も小学校や集会場15ヵ所回り



8/21 市内避難者じんのびカフェに高校生が訪問

8/22 三道山子ども食堂は、いつも大賑わい☆ たくさん食べて・たくさん遊んで遊んでもらっています





8/26 三道山子ども食堂から能美市社会福祉協議会さんへ生活応援弁当



8/28 夏季巡回ラジオ体操 能美市物見山陸上競技場に 1400 人が参加



8/28 能登支援 109 回目 奥能登 12 ヶ所を回って 相談とイベントの打合せをしてきました



8/29 寺井ほかから会と一緒にレクリエーション



8/30 泉台町夏祭り



8/30 災害ボランティアセンター運営訓練



9/1 市内避難者じんのびカフェ&パントリー



9/1 石川女性模擬県議会



9/3 市内避難者「じんのびカフェ」



9/4 能登応援 110 回目は 18 ヶ所回り 健康教室の応援や夏休み明けの小学校の作品展も見せて頂きました



9/5 シングルファミリー応援子ども食堂



9/7 石子町オータムフェスタ



9/8 市社協さんへ生活応援弁当



9/14 三道山町秋祭り



9/15 挨拶回り途中に母へ差し入れ



9/18 111 回目の能登支援は 2 週間ぶり 多くの方から託された物資、待っている子ども達や高齢の方がいます



9/19 三道山子ども食堂カレー120食 品切れ~



三道山子ども食堂を いつも応援いただきありがとうございます



●太陽光発電導入計画について

能美市地球温暖化対策実行計画（2023年3月策定）では、2030年度に温室効果ガスを2013年度比で50%削減、2050年実質ゼロを目指している。目標達成には、省エネと太陽光発電を中心とした再エネ導入が不可欠。市は既に防災センター等16施設に太陽光発電を導入し、ESCO事業による市役所の省エネ改修などを進めている。

再エネ導入目標は市有施設の50%（約35施設）だが、今後建設予定の本庁舎防災・機能強化施設や地域共生交流館への太陽光発電導入計画、さらに35施設達成に向けた具体的な導入方針について、市の考えを問う。

答 井出 敏朗 市長

市は、2030 年度までに温室効果ガスを 2013 年度比で 50%削減する目標を掲げ、再生可能エネルギー導入や省エネ対策に取り組んでいる。特に太陽光発電は効果が大きく、これまで防災センターや保育園など 15 施設に導入し、学校給食センターでは P P A 方式を採用しました。本庁舎新施設は Nearly ZEB 仕様で整備し、交流館ではペレットボイラーも導入する。一方で既存施設では構造耐力や費用対効果が課題となり、今後も検討を進めていく。注目されるペロブスカイト太陽電池の採用も視野に入れ、将来的な導入を目指す。また、災害時の電力確保に向け蓄電池導入を検討し、避難所ではカーボンオフセット L P ガスの活用拡充を進め、安全・安心でカーボンニュートラルなまちづくりを推進していく。



●不登校の子ども達の支援について

令和 5 年度の調査で小中学生の不登校は過去最多 3 4 万 6 千人、1,000人当たり37.2人となっている。文科省は C O C O L O プランを示し、不登校を問題行動とせず、一人ひとりの学びを支えることを重視している。①学びの場の確保やオンライン学習支援、②「チーム学校」による心の S O S の早期発見・支援、③学校風土の「見える化」による安心できる環境づくりを柱としている。市は学びの多様化に取り組んでおり、不登校児童生徒や保護者に寄り添う取組を昨年から開始。その効果や今後の展開を問う。

答 横関 達人 教育長

市教育委員会は、文科省の C O C O L O プランを指針に、不登校児童生徒と保護者を包括的に支援している。学校内では別室登校支援教室や相談室を設置し、個別学習や安心できる居場所を提供。教育センターでは家庭訪問やふれあい教室での学習支援を行い、Chromebook やリモート授業で個別最適学習も実施。保護者向けには「子どもの C O C O L O に寄り添う親の会」で年 4 回開催を予定し講師には、ライフコーチや学校メンタルコーチとしてご活躍の沢田知恵先生をお迎えし、「子育て & 自分育てコーチング」をテーマに講話と保護者同士の対話を重ねています。心の安定や保護者同士のつながりを促進。成果と課題を検証し、継続的に支援体制の充実を図っていく。



●教育センターについて（田中策次郎）

施設の老朽化、サンテとの連携の強化、交通アクセスの利便性で、教育センターの施設の移転に大きな期待をしている。ふれあい教室では給食がなく、お弁当持参のため午前で帰る児童や、給食がないことを理由に通わない児童もいると聞く。給食提供には設備や人員の整備が必要なのは承知しているが、教育センター移転を契機に、今後の給食の検討を期待する。

●障がい者雇用のマッチングについて

障害者雇用について質問します。障害基幹相談支援センターでは、医療・福祉・教育・就労等の関係機関と連携し包括的支援を提供している。その中で、私自身がこれまで多くの障害者のご家族から就職に関する相談を受ける一方、事業者からも障害者雇用の希望を伺っています。双方の思いをつなぐため、健康福祉部の協力のもと取り組みを進めてきたが、今後は、事業者が雇用の仕組みや支援制度をより分かりやすく理解できる情報発信を強化するとともに、障害者とその家族が多様な仕事先から選択できるマッチングの仕組みを構築できないかを問う。

答 飯田 重則 副市長

市では、第 4 期障害者計画に基づき、関係機関と連携して就労支援の充実に取り組んでおり、周知・啓発としては、令和 5 年度から障害者の就労支援の取組をInstagramで定期発信し、フォローも増加している。また、市商工会青年部と連携し、イベントを通じて事業者の理解促進や顔の見える関係づくりを進めている。今後は、市商工会や関係部署と協力し、障害者雇用の理解を深める機会やマッチングの仕組みづくりを検討していく。



ご意見・ご相談等がございましたら下記まで☆

ご返答希望の方は連絡先をお忘れのないように願います。

能美市議会議員 田中 策次郎

〒923-1124 石川県能美市三道山町チ 16-2

TEL 0761-58-5037 FAX 0761-58-5209

Mail 3926@nomi-city.net http://3926jp.net



議会 YouTube 配信

意見交換会や
本会議の中継を
発信しています

